

学校教育目標

かがやけ はばたけ こまばっ子 学びのその先へ

めあてをもつ

自分のめあてをもち ねばり強く取り組み振り返る

考えをもつ

自分の考えをもち 相手の考えを理解し伝え合う

よさに気付く

自分のよさに気付き 相手のよさをみとめ学びに生かす

一歩前へ<重点>

駒場だより

温かな「熱量」に支えられ、次なる開花へ

校長 石川 朋実

なごり雪が舞い、春の訪れが待ち遠しい季節となりました。保護者、地域の皆様には、この一年、本校の教育活動を温かく支えていただき、心より厚く御礼申し上げます。

18日の卒業証書授与式では、門出を迎える6年生に「人は、一人では限界がある。しかし、互いの可能性を信じあうとき、驚くほど大きなことができる」という言葉を贈りました。このメッセージの原点は、4年生の学習で聾学校を訪れた際、かつてそこをヘレン・ケラー女史が訪れていた歴史を知ったことにあります。「三重苦」という過酷な運命の中にいた彼女が世界的な光となった背景には、本人の不屈の精神はもちろん、その可能性を誰よりも信じ続けたサリバン先生の存在がありました。サリバン先生がヘレンの「よさ」を信じ、諦めずに寄り添い続けたからこそ、あのような奇跡が生まれたのです。私たちの地域に、こうした「信じあう心」の歴史が刻まれていることは、子供たちにとって大きな誇りと学びになると信じています。

列島を北上する桜前線のニュースが聞こえてまいります。開花には2月1日からの最高気温の合計が600度に達する必要があるという「600度の法則」があるそうです。校庭の桜の蕾は今、厳しい寒さに耐えながら、開花に必要な「熱量」をじっと蓄えています。こまばっ子も、日々の授業で悩み抜いた時間、行事で流した汗、そして皆様からかけられた温かな励ましという「熱量」を積み重ね、着実に開花の準備を整えてきました。この開花に必要な「熱量」の多くは、日頃から子どもたちを温かく見守り、そのよさを信じ続けてくださった保護者や地域の皆様からいただいたものです。

今年度、本校は「自分のよさに気付き、相手のよさを認め学びに生かす」ことを重点目標に掲げてまいりました。自分自身の小さな歩みを肯定し、仲間の可能性を信じて共に高め合う——。この一年で育んだ「よさに

転退職員のご紹介			
岸本 小百合	教諭	ご退職	
島田 裕史	用務員	函館市立大森浜小学校へ	
佐藤 智子	支援員	ご退職	

気付く心」は、春の陽光とともに、子どもたちの未来を鮮やかに彩る力になると確信しています。一年間、本校の「熱量」となってくださった全ての皆様に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

4月の主な行事予定

6日(月)	学級担任発表 (Tetoru で配信)	16日(木)	1年生給食開始
7日(火)	6年生入学式準備のため登校	22日(水)	PTA 総会・授業参観・学級懇談
8日(水)	入学式・始業式	24日(金)	個人懇談会 4/27・28・30・5/1
13日(月)	2～6年給食開始		